

## 米同時多発テロの関連本を紹介します

9月11日、世界を震撼させるようなテロ事件が起きました。

いまだかつて考えられなかったような新しいタイプのテロの発生により、米国のみならず世界中の国々が、政治、軍事面での新たな対応を迫られ、また、経済面など多方面でも計り知れない大きな影響がでており、今後の先行きが懸念されています。

今回のテロは政治や宗教など複雑な要素が絡み合っており、非常に難しい問題をはらんでいます。以下にテロやイスラム原理主義に関する本をご紹介しますのでご利用ください。

なお、それ以外にも、NewsweekやAERA、週刊朝日などの雑誌にも特集記事が載っていますのでご覧ください。

○イスラム世界と欧米の衝突 [319.26]

宮田律著 日本放送出版協会

○イスラム急進派 [228]

岡倉徹志著 岩波書店

○イスラム原理主義とは何か [312.26]

山内昌之著 岩波書店

○テロリズムとはこう戦え [368.6]

ビンヤミン・ネタニヤフ著 ミルトス

○無差別テロの脅威 ハイテクを駆使した  
新型戦争の実態 [368.6]

松井茂著 光人社

○イスラム政治運動 台頭するイスラ  
ム主義と国際政治 [312.26]

宮田律著 日本経済新聞社

○イスラムとアメリカ [167]

山内昌之著 岩波書店

○タリバン イスラム原理主義の戦士たち

[226.2] アハメド・ラシッド著 講談社

○テロリズムとは何か [316.4]

佐渡竜己著 文芸春秋

○世界をおそうテロ活動 [368、児童書]

クリストファー・コーカー著 佑学社

○テロリズム 変貌するテロと人間の安  
全保障 [368.6] 東海大学平和戦略国  
際研究所編 東海大学出版会

○危険の道 秘史アフガニスタン侵略

[226.2] モハマッド・ハッサン・カリミ著  
読売新聞社



## 雑誌について

三島市立図書館では、288種類の雑誌を取り揃えています。

また、レファレンスコーナーには郷土関係の雑誌も置いてあります。

購入雑誌については、法律、経済、文学、教育、科学、旅行、スポーツ、料理、住宅、ファッション、一般情報誌などさまざまなジャンルのものを選ぶようにし、他市の図書館の雑誌等も勘案し、偏りのないように選定しています。

一般図書については、当図書館に所蔵していない本のリクエストができますが、雑誌については、予算が限られているため、ない雑誌の新規購入リクエストはできません。ご了承くださいますようお願いいたします。

当図書館に所蔵していない雑誌については、他市の図書館に所蔵がある場合、三島市に在住・在学・在勤の方であれば、その図書館から取り寄せること（予約）もできますので、ご相談ください。

## 私 と 読 書

### ～ 心 に 残 る 1 冊 ～

川村 陽一

(県立沼津西高校教諭)

私が読書に目覚めたのは高校1年生の頃でした。地理の授業中に、先生が本当に楽しそうにその本を紹介してくれました。

「僕はこの本を大学1年生の時に読みました。もし僕が高校生の時にこの本に出会っていたら、きっと僕の高校生活は違うものになっていたと思います。」

こんなことを言われたら、もう読むしかありません。学校の図書室へ行きましたが見つからず、帰りに市の図書館へ行きました。ありました。曾野綾子著「太郎物語（高校編）」です。

隣にあった（大学編）も借りました。作者の息子さんがモデルになっているらしいのですが、その考え方、意識の高さに驚かされ、その当時の自分自身のふがいなさに気付きました。高校生活が変わったかどうかはわかりませんが、いろいろな意味で考え方が変わり、少し大人になったような気持ちにさせられました。

その後は、曾野綾子さんの著書を買ってあさり、何度も読み返すことになりました。非常に思い出深い本です。高校生だけでなく、大人の方にも読んで欲しい本です。

## きょうどの本

歌人 <sup>あかしかいじん</sup> 明石海人 (本名：野田勝太郎)

- 1901年 (明治 34年) 7月5日、沼津市生まれ。  
1920年 (大正 9年) 静岡師範学校卒業後教職に就く。  
1924年 (大正 13年) 結婚。翌1925年、長女誕生。  
1926年 (昭和 元年) 東大病院でハンセン病の診断を受く。年末次女誕生。  
1927年 (昭和 2年) 明石楽生病院に入院。病院を転々とし 32年に岡山県の国立療養所長島愛生園に入る。  
1939年 (昭和 14年) 歌集『白描』を改造社より出版。2万5千部のベストセラーとなる。6月9日、腸結核のため37年11ヶ月の生涯を閉じる。

\*明石海人生誕100年の今年7月5日、沼津市千本浜公園に歌碑が建立された。

「さくら花 かつ散る今日の 夕ぐれを 幾世の底より 鐘の鳴りくる」



『静岡の文化』より

明石海人は、社会の偏見の中で、ハンセン病ゆえに本名、出生地を語ることもなく、久しく幻の歌人としてベールにつつまれていた。

生きるということの極限で創作活動を続けた彼が、「ハンセン」氏病をうたう生活短歌という枠から出ようとし、自らいうポエジー短歌の世界を見事に切り拓いた彼の歌の偉大さは、この病者であることを超えた歌の中にこそあると思う。(市原正恵著 『静岡の文化』より)

- ・『海人全集 上・下・別巻』 明石海人著 皓星社刊 [K980/ 17]
- ・『文芸三島 第13号』 「明石海人とハンセン病 岡野久代著」
- ・『文芸三島 第20号』 「長島愛生園時代の明石海人 岡野久代著」  
三島市教育委員会刊 [K900/123/7]
- ・『静岡の文化 1988年秋号』 「沼津生まれの歌人明石海人 市原正恵著」 [郷土雑誌]
- ・『慟哭の歌人 海人とその周辺』 松村好之著 小峯書店刊 [911.16 アカ]
- ・『よみがえる“万葉歌人”明石海人』 荒波力著 新潮社刊 [911.16 アカ]
- ・『瀬戸の潮鳴り 小説・明石海人』 松田範祐著 文芸社刊 [913.6 マツタ]

### 視聴覚コーナーから

—新コーナーができました!—

視聴覚カウンターの前に、新コーナー「家庭料理」ができました。和食の作り方のビデオ、季節の料理のビデオ等、見ているだけでお腹がすいてきそうなビデオがたくさん!

男性向けの料理のビデオ、子ども向けの料理のビデオもありますよ!

食欲の秋、ぜひビデオを借りて家庭でおいしい料理を作ってみませんか?

## こどものへや

きみは、ひとりでおるすばんできるかな？



「ふしぎなおるすばん」 齊藤栄美／作 岡本順／絵  
ポプラ社

きょうはひとりでおるすばん。でもさびしくなんかないよ。しりとりをしてあそぼう。さいしょは、しりどりのり。り、り…りんご！すると、あれれれ、りんごがとびだしてきた。

「るすばん」	さとうわきこ／作	福音館書店
「ながいながいおるすばん」	森山京／作 二俣英五郎／絵	ポプラ社
「るすばんするかいしゃ」	寺村輝夫／作 さとうわきこ／絵	学研

★ひとりのおるすばんって、ふあんだけどたのしいことも いっぱいだよ！

### 図書館 Q & A

Q. 図書館での携帯電話の使用を、一切禁止してください。入館前に電源をOFFにするよう指示をすべきでは？

A. 携帯電話は、館外でご使用いただくようお願いいたします。

図書館では、携帯電話は館外でご使用いただくようお願いしています。館内での携帯電話の使用を一切禁止することは、緊急時など使用が必要な場合もあると思われるため出来かねます。

しかし、着信音や通話は他の利用者の迷惑になります。入館する際は、携帯電話の設定をマナーモードにしましょう。また、着信があった場合は、速やかに退館してください。

館内に掲示してある「図書館を上手に使いましょう」には、館内でのルールを記してあります。他の利用者の迷惑にならないようルールを守り、みんなで気持ち良く使える図書館にしたいものです。